

春のアブラゼミ 第4日目 A of B の訳し方

組 () 番号 () 氏名 ()

We all know from a study of history the progress of the working people from a stage of barbarism to that of slavery, serfdom and later individual freedom. In the early days of human history the wants of the masses were few and simple.

【広島大】

和訳

参考

- ・ progress = 進歩
- ・ working people = 労働者
- ・ the stage of barbarism = 未開の段階
- ・ slavery = 奴隷の身分
- ・ serfdom = 農奴
- ・ the masses = 一般大衆

英語は並び方が命！ (5文型)

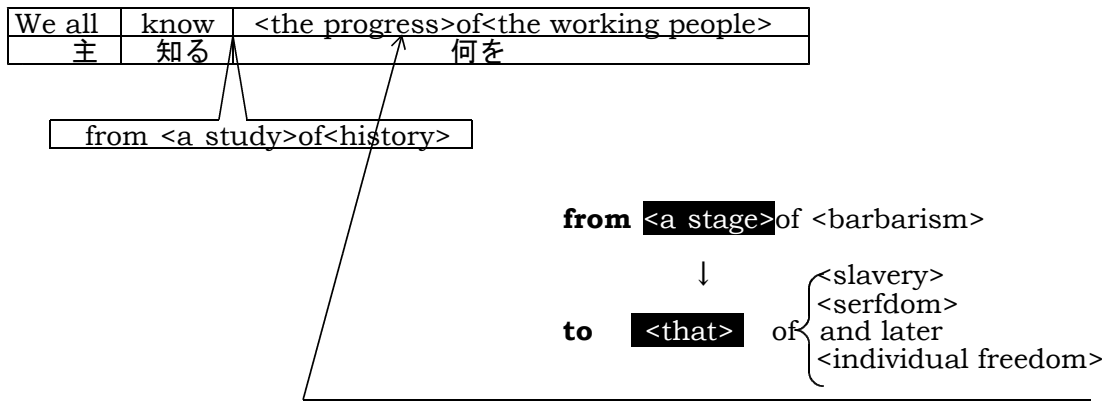
1. 主語+どうした
2. A=B
3. 主語+どうした+何を
4. 主語+どうした+誰に+何を
5. 主語+どうした+何を+どの様に (何に+どの様なことを)

◎英語は語の並び方が命！自分が読んでいる英文がどの文型で書かれているかをいつも考える。
◎「英語が読める」とは、動詞を見たらその直後の語順が分かることだ。

英文の読み方

1. 前置詞+名詞は他の部分から切り分けて形容詞か副詞かを考える。
2. and、but、or が出てきたら直後に注目し、直前に同じ形を探す。
3. a、an、the が出てきたら名詞を探す。
4. 助動詞の後ろには動詞がある。be ~ to や ~ to を助動詞考えれば簡単に動詞が見つかる。
5. 文中副詞の後ろには(一般)動詞がある。文中副詞のほとんどが「-ly」の形をしている。
6. 文頭に前置詞+名詞があり、直後に動詞があれば、完全逆転型の倒置。
7. 文頭に否定語があり、直後が疑問文の並び方なら、疑問文型の倒置。
8. 省略は「同型反復」に注目すればすぐ分かる。
9. A of B が出てきたら「BがAする」「BをAする」「Bの持つA」「BというA」「AのB」を特定する。
10. that、-ing、to-が出てきたら「名詞」「形容詞」「副詞」を特定する。、-ing のコンマ(,)の省略に注意。

<見取図>



In <the early days>of<human history>

<the wants>of<the masses>	were	{ few and simple
A	=	B

この英文和訳のポイントは A of B をいかに上手く訳出するかにある。**A of B を「BのA」と訳出して上手く行く場合は良い。**でも、下線部に出てくる A of B は「BのA」ではきれいな日本語にならないことが多いので工夫が必要だ。

1. 主格の of で「BがAする」
2. 目的格の of で「BをAする」
3. 所有格の of で「Bの持つA」
4. 同格の of で「BというA」
5. 部分の of で「Bの中のA」

of の用法は他にもいくつかあるが、和訳にからむのはこの5つ。

■歴史の研究から
from a study of history

「歴史の研究」でも悪くはないのだけれど、これは目的格の of で「BをAする」だから「歴史を研究することで」とやってやると採点官が感心すること請け合いだ！ちなみに、直前には know という他動詞があるので、次には目的語「何を」を期待しながら読むのだが、その期待を裏切って from a study of history が出てくるので、この部分が挿入だと分かる。

■労働者の進歩
the progress of the working people

これも「労働者の進歩」でも良い。これは所有格の of で「Bの持つA」。所有格の of はアポストロフィ s (-'s) を用いて書き直すことができる。ここでも the working people's progress と表現できる。でも、「労働者の持つ進歩」は上手くない。ここでは歴史から読み取れる進歩のことを言っているのだから「労働者が見せた進歩」とか「労働者が示した進歩」とやってやると良い。ま、ここまではできなくても合格はできるけどね。

■未開の状態
a stage of barbarism

これは同格の of だから「BというA」で「未開という状態」とか「未開という段階」となるが「未開の状態」が良い。それよりも、ここでは from A to B の構造を見抜けなくてはならない。そして、そこから that of ~ の that が具体的に指すものが見えてくる。なぜなら from A to B も、A と B を結んでいる意味で疑似接続詞なのだから、結ばれる A と B は symmetric な対称形を示してはならないからだ。訳出の際には **that of ~** をちゃんと a stage of ~ とやってやることだ。A of B の「A」の反復を避ける that と those を忘れた子は復習しておくこと。

The population of Japan is larger than **that of** Bhutan.
日本の人口はブータンの人口よりも多い。

■人類史の初期
the early days of human history

これは部分の of で「Bの中のA」。そうすると「人類の歴史の中の初期」となるが、これも「人類史の初期の頃」が良い。

■一般大衆の欠乏って何？
the wants of the masses

広島大学の下線部訳で、この of だけはちゃんと主格の「BがAする」と訳してやらないと意味が通じない。つまり、名詞 wants は「欠乏、不足、困窮、貧困、欲望」だから、「一般大衆の欲望」とか「一般大衆の欠乏」などとやっては何が言いたいのか分からなくなる。ここでは主格の of を意識して「一般大衆が要求するもの」と訳すとカッコいい。動詞 want は「したい、欲しい、必要とする」なのだから「BがAする」で訳した方が分かりやすいわけだ。

【全訳例】僕らは皆、歴史を研究することで、未開の段階から、奴隷、農奴、そして後の個人的自由の段階に至るまでに、労働者が見せた進歩が分かる。人類の歴史の初期の頃には、一般大衆が求めるものは、その数も少なく、かつ単純なものだったのだ。